

Remake

ギランバレー

症候群は

どんな病態？

エビデンスノート324



# ギランバレー症候群の全体像を見てみよう！

運動神経や感覚神経が障害されて  
運動麻痺や感覚障害が起こる病気

## 概要

- 既往歴 → 発症前に感染を起こしている
- 足の痺れで発症してから次第に腕も痺れていく
- 抗ガングリオシド抗体が血液検査で陽性
- 多くは6ヶ月以内に自然回復する

イラストで見ていこう！



# 7割の人に先行感染があるよ

## 特徴①

→7割の人に、**先行感染**が認められる(感染症になってからギランバレーを発症すること)

感染症の病原体は  
**カンピロバクター**が最も多い



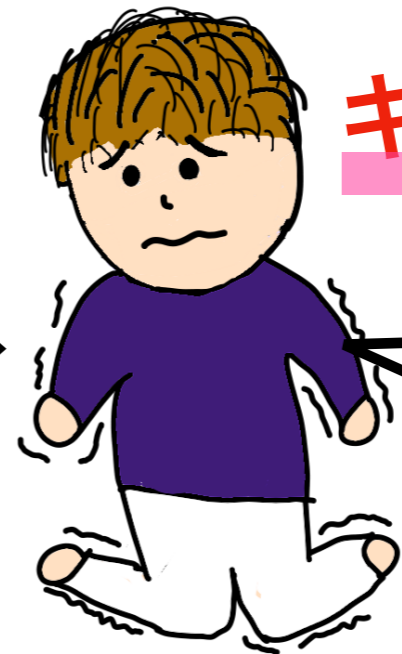
カンピロバクター

**感染症**



1~3週間後

**ギランバレー症候群**



**運動麻痺  
感覚障害**

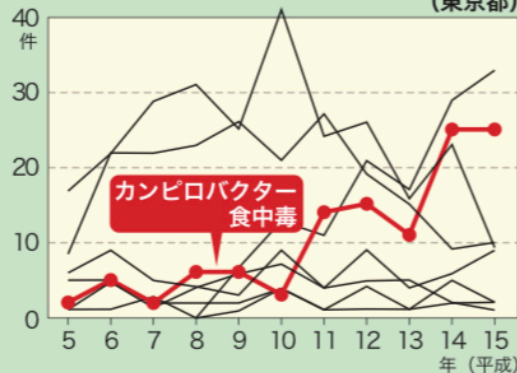


# 知って防ごう! カンピロバクター食中毒

家庭編



〈主な微生物による食中毒の発生件数の推移〉  
(東京都)

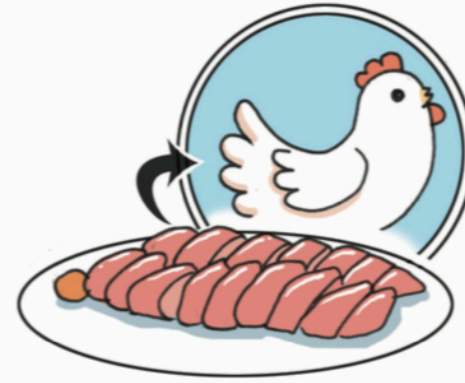


近年、カンピロバクターという細菌を原因とする食中毒が多く発生しています。この食中毒は、調理や食事のときにちょっとした注意をすることで防ぐことができます。

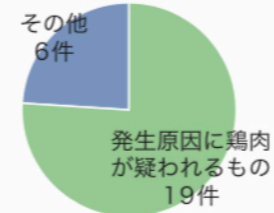
カンピロバクターの特徴を知って、食中毒を防ぎましょう。

カンピロバクター食中毒の主な発生原因には、

○鶏肉を生で食べた。



○食べた鶏肉の加熱が不十分だった。



平成15年に都内で発生したカンピロバクター食中毒25件のうち4分の3で、発生原因に鶏肉の関与が疑われました。また、鶏肉の関与が疑われる例のほとんどで、鶏肉のさしみなど、生の肉を食べています。

このようなことが原因で食中毒が発生することは、「カンピロバクターの特徴」を考えるとよくわかります。

## カンピロバクターの特徴

○鶏などの消化管にはよくいる菌

→ 鶏肉の4割から6割には付着

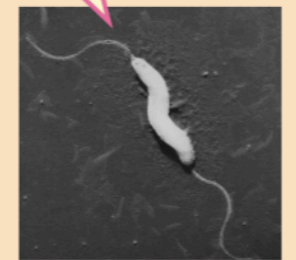
○少量の菌で食中毒が発生する。

→ 菌が付いた鶏肉をすこしでも生で食べたり、生の鶏肉からサラダなどについた菌を食べてしまう程度でも、食中毒になる可能性がある。

○熱に弱い

→ 食品を十分加熱調理すれば、菌は死んでしまう。

- 鶏が大好き
- 少数でも破壊力大
- 熱や乾燥は大の苦手
- 最近増加中



〈カンピロバクター〉

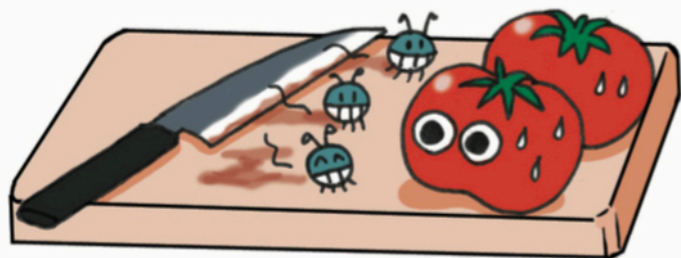
■カンピロバクター食中毒についてのページ

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/anzen/hyousha/campylo/index.html>



## 特徴があります。

- 生の鶏肉にさわった手指や調理器具から、カンピロバクターが他の食品に付き、その食品を加熱しないで食べた。



## カンピロバクター食中毒の症状

### 主な症状

下痢

腹痛

発熱

原因食品を食べてから発症までには1日から7日（平均2日から3日）の期間（潜伏期間）があります。



他にだるくなったり、頭痛、めまい、筋肉痛などが起こることがあります。また、食中毒症状が治ったあとで、ギランバレー症候群を発症する場合があることも指摘されています。

### 症状がある場合には、早めに医療機関を受診してください。

\*ギランバレー症候群とは、手足のしびれや顔面麻痺（まひ）、歩行困難などが起き、重症の場合には呼吸困難にもなる怖い病気です。

食中毒なんて、苦しくていやなものです。

カンピロバクター食中毒にならないよう、調理をするときや、鶏肉料理を食べるときには加熱状態などに注意する必要があります。

そのうえで、良質なタンパク質を多く含む鶏肉を、バランスよく食事にとり入れましょう。



## 食中毒を防ぐには

食中毒を起こす細菌やウイルスには、熱に強いもの・弱いもの、乾燥に強いもの・弱いものなど、様々な特徴のものがあります。それぞれの食中毒菌やウイルスの特徴などに合った予防対策が必要ですが、加熱調理や食材の衛生的な取扱い等、共通する部分もたくさんあります。

食中毒予防3原則は、多くの食中毒菌に共通する対策です。

### ○菌をつけない

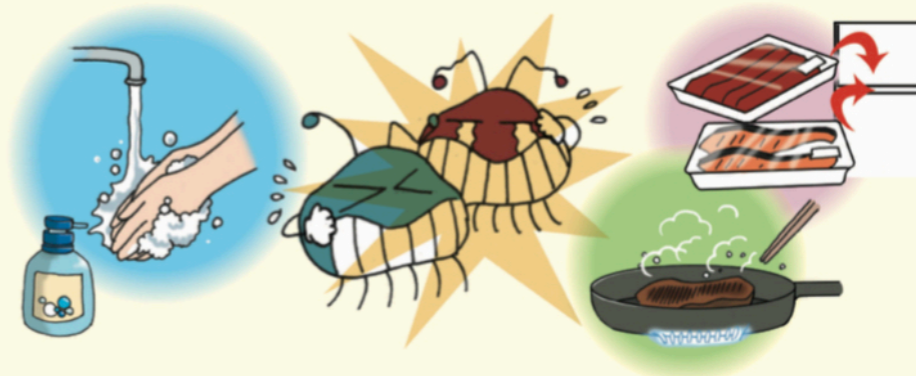
手洗いや調理器具の洗浄消毒をしっかりとこなしましょう。

### ○菌を増やさない

肉や魚介類は、すぐに冷蔵庫にいれましょう。

### ○菌を殺す

肉や魚介類は、よく加熱して食べましょう。



食中毒に関するお問い合わせは、お近くの保健所へ

平成16年12月発行

東京都福祉保健局健康安全室健康安全課 新宿区西新宿 二丁目8番1号 電話：03-5320-4507

登録番号(16)120

印刷 丸正印刷紙工株式会社 電話：03-3269-7788

# その他の特徴

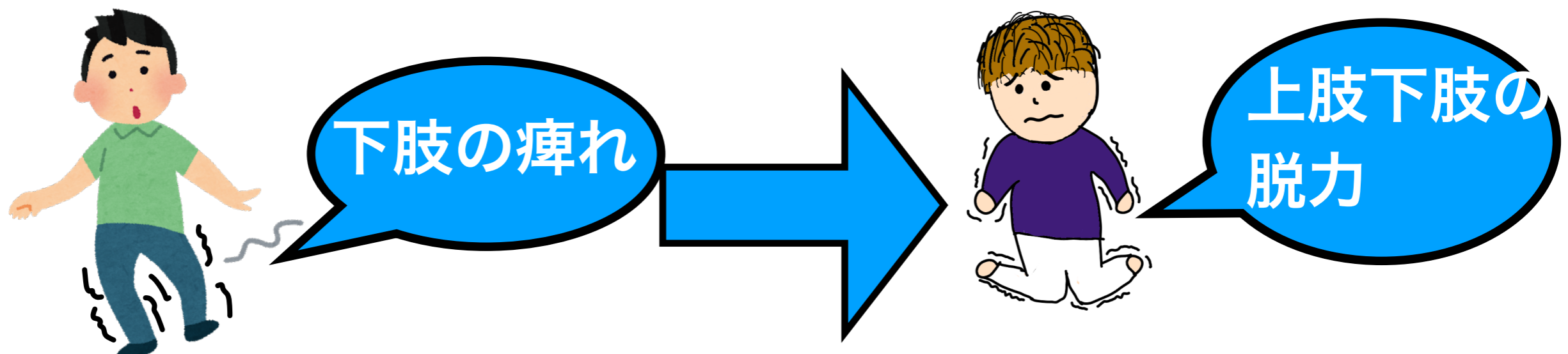
## 特徴②

→多くは自然回復する(6ヶ月以内)



## 特徴③

→麻痺は下から上に広がる。下肢の痺れで発症して腕の麻痺

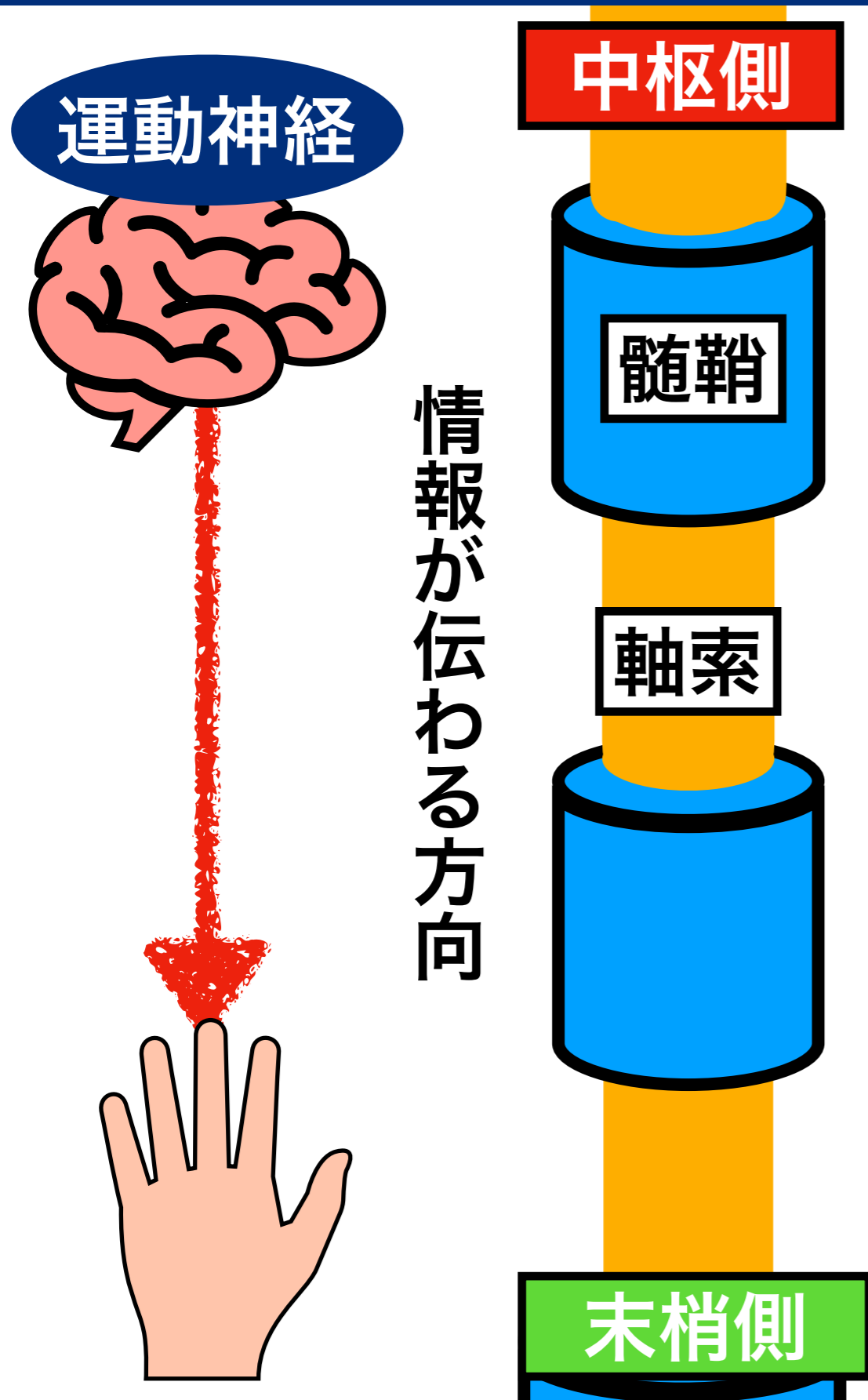


**どうして運動障害・感覚障害が起こるの？**

**まずは正常な神経の仕組みからみていこう！**



# ここで正常な神経の仕組みを見てみよう！

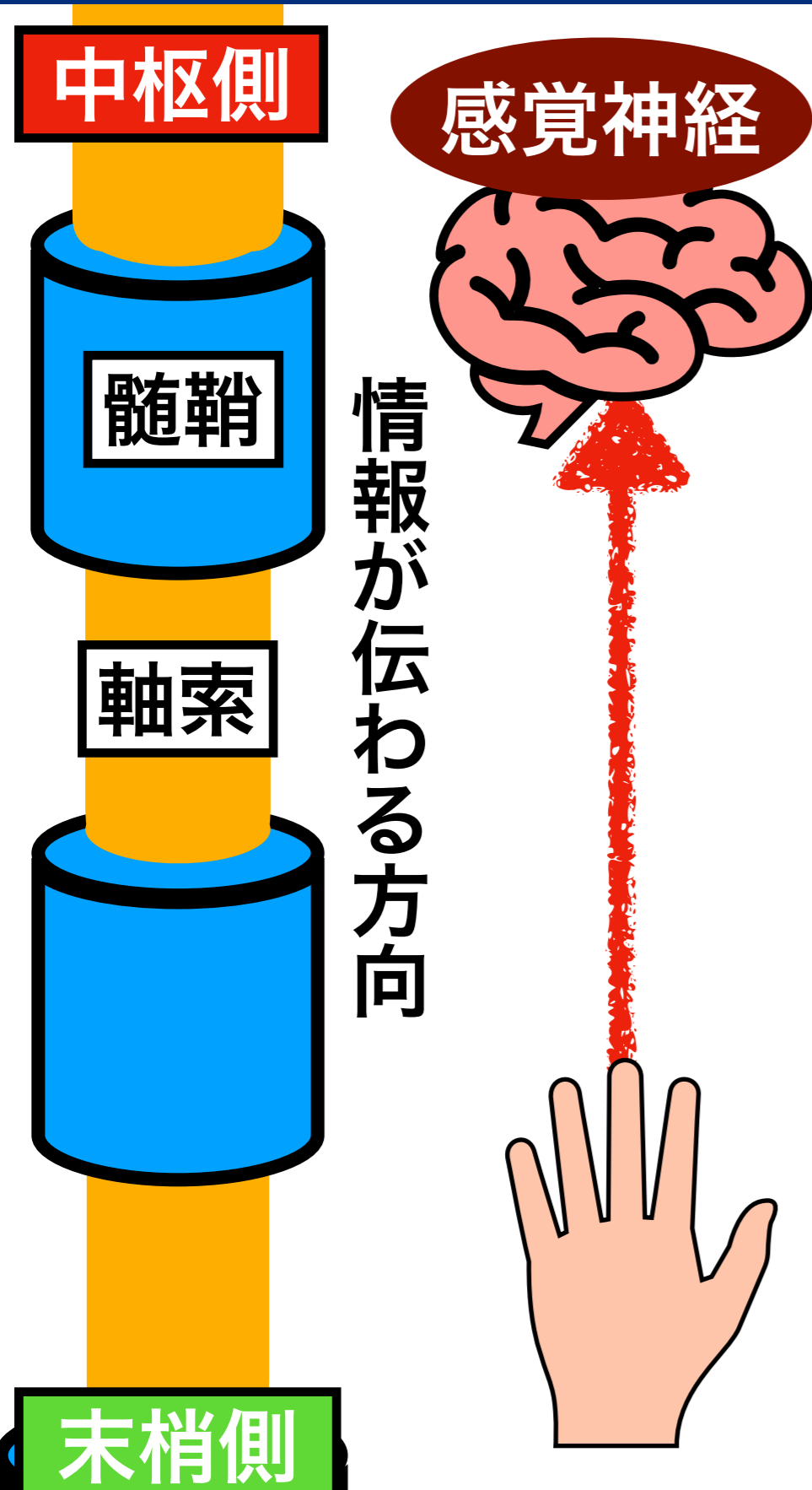


- ① **脳**から「手を動かせ！」と命令が来ます
- ② 命令は神経を**通**って**手**の筋肉に伝わります
- ③ 手が動きます

これが運動神経です！



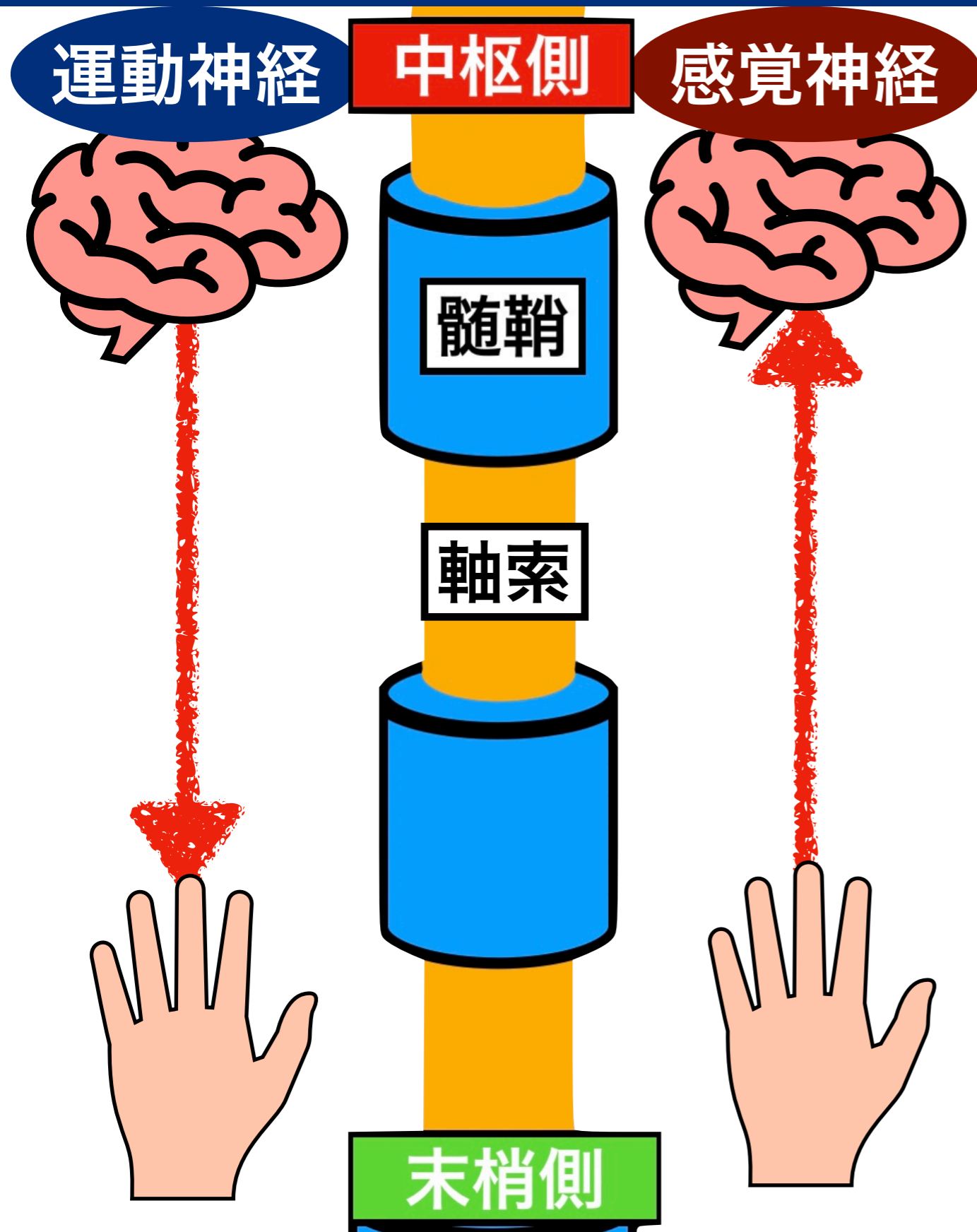
# ここで正常な神経の仕組みを見てみよう！



- ① 手でペンとかに触れます
- ② ペンに触れた情報は神経を通過して脳に伝わります
- ③ 「ペンに触れた！」と認識できます

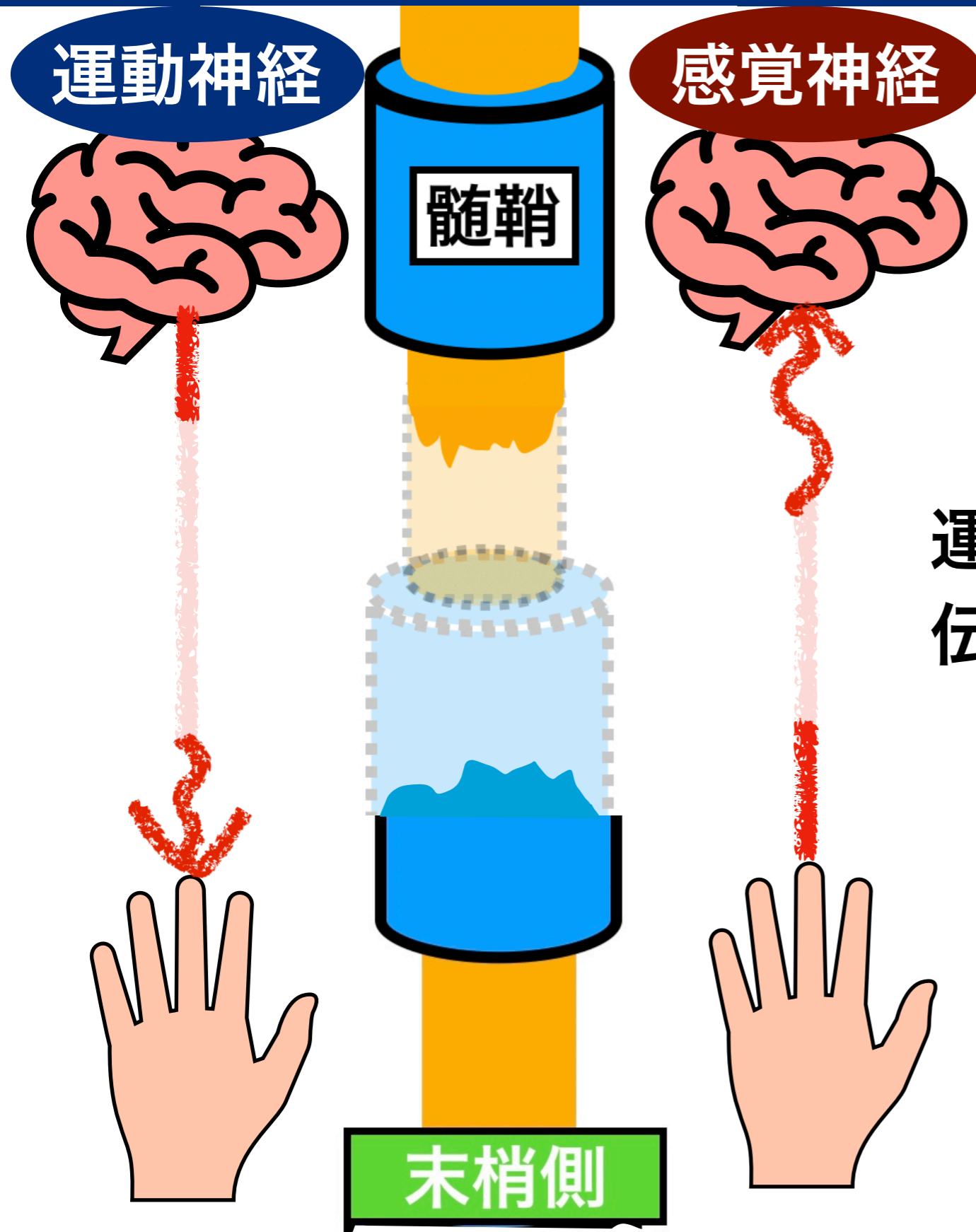
これが感覚神経です！

# ここで正常な神経の仕組みを見てみよう！

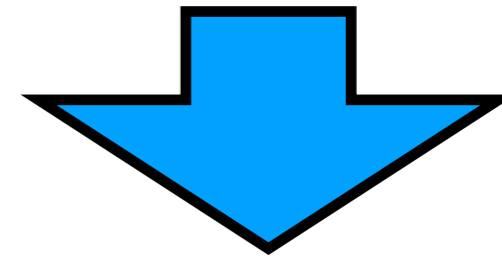


まとめるとこんな感じ！

# 神経が途中で切れちゃうと



運動の命令や、感覚の情報が  
伝わりにくくなってしまう！

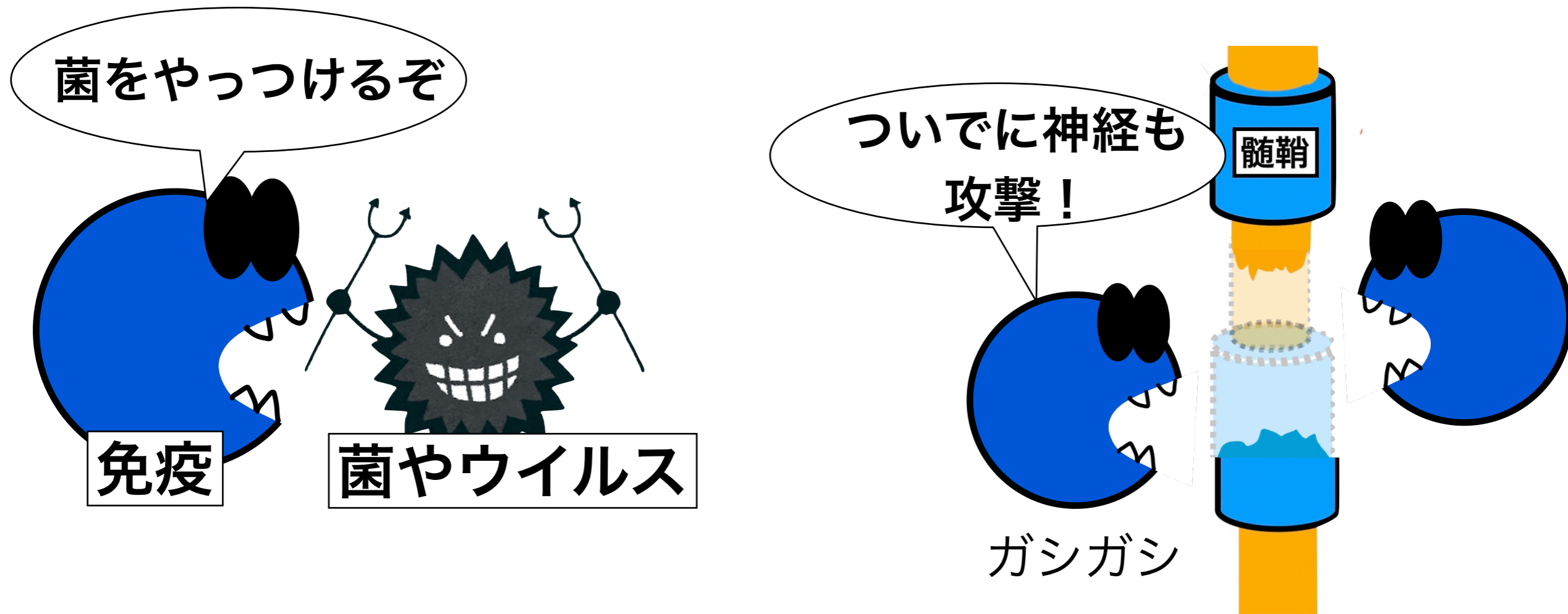


運動麻痺や感覚障害！



# 免疫は間違えて神経細胞を攻撃

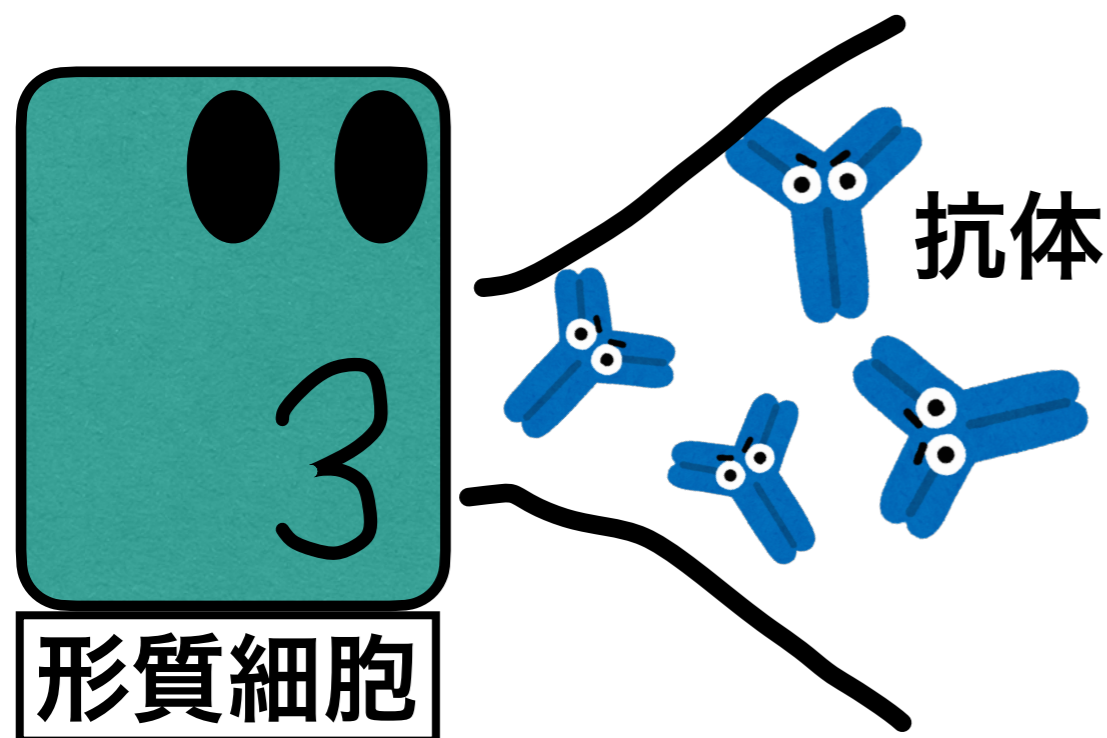
- ギランバレーは、感染症を起こしてから感覚障害や運動麻痺を発症しますよね！
- 感染症を起こしている時、免疫細胞は菌を攻撃します
- だけど間違えて神経細胞にも攻撃してしまいます！



# 抗体産生ってなに？

- 抗体っていうY字のタンパク質を敵に投げつけると…
- 敵を食べやすくなる(オプソニン化)
- 敵を弱らすことができる(中和)

抗体産生すると…



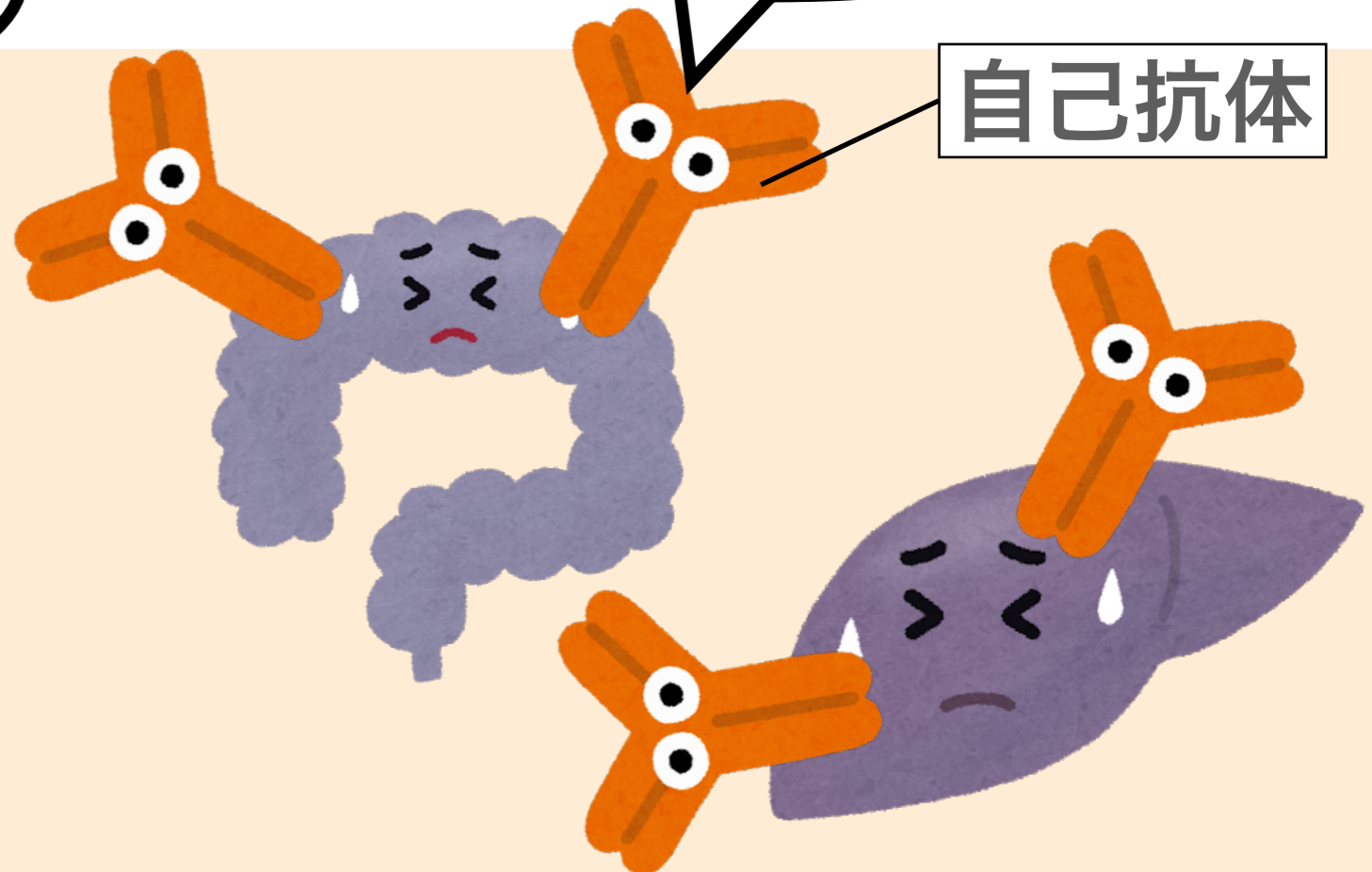
# 自己抗体って？

本来、敵にくっついて攻撃したり食べやすくする抗体が、  
自分の正常な組織にくっついちゃうこと！

そのまま敵を弱らせて  
おけ！俺もいく！



正常な細胞に  
くっついちゃうぞ～！





# 自己抗体って？

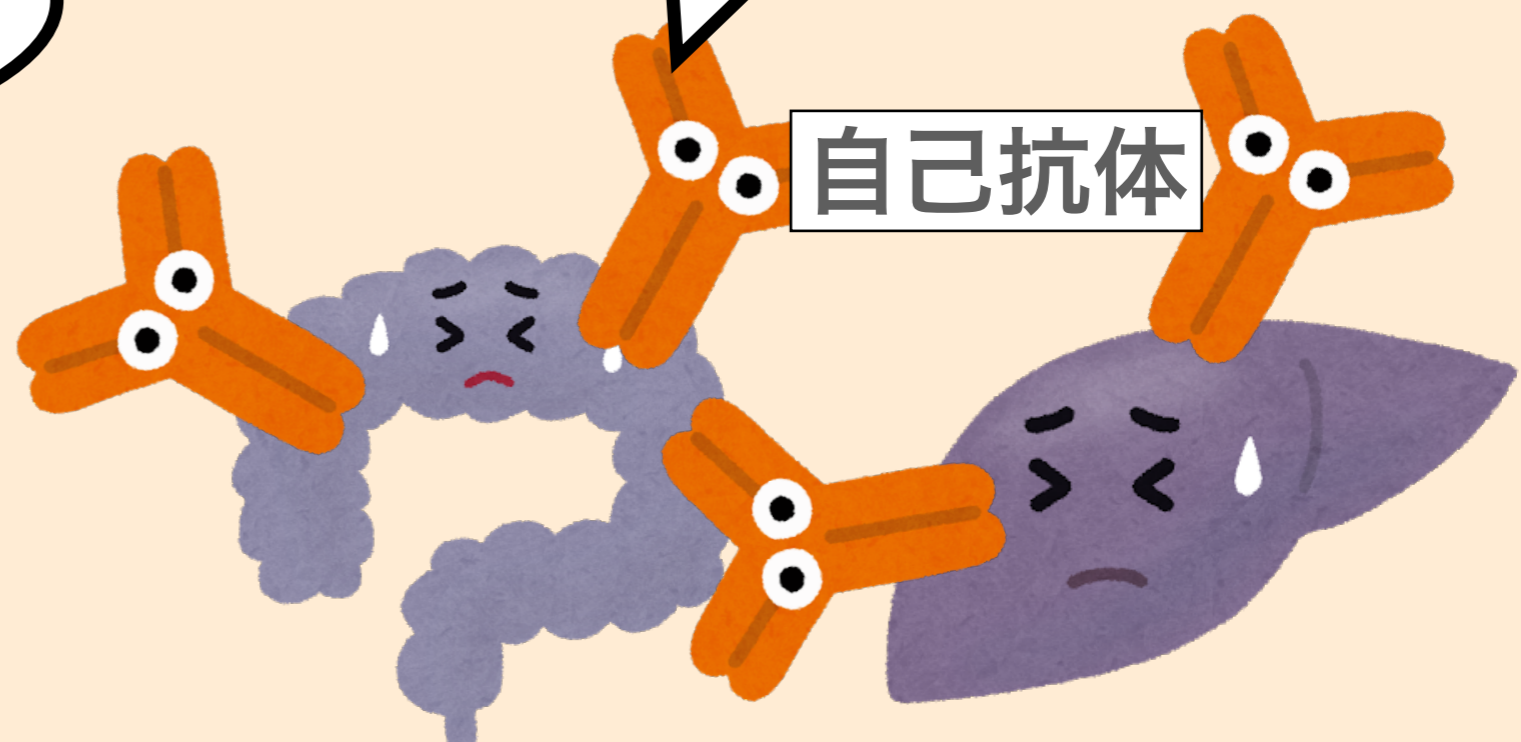
本来、敵にくっついて攻撃する抗体が、自分の正常な組織を攻撃してしまう！

ギランバレーでは抗ガングリオシド抗体という自己抗体が神経を攻撃する！

そのまま敵を弱らせてお  
け！俺もいく！



正常な細胞に  
くっついちゃうぞ～！



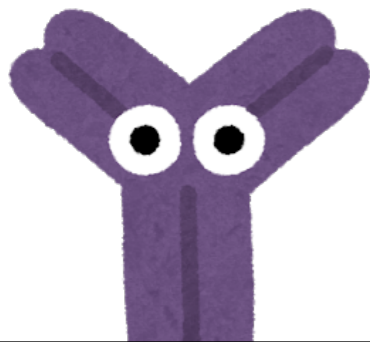
体内

# 膠原病にはどんな自己抗体がある？



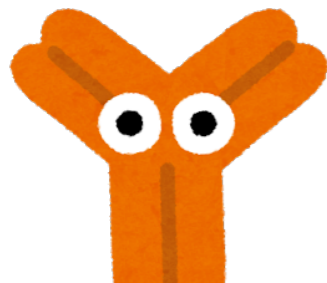
リウマトイド因子

関節リウマチやシェーングレン病



抗核抗体

SLEや全身強皮症



抗好中球細胞質抗体

肉芽種症とか色々…陽性率が様々

他にも抗リン脂質抗体とか色々あるから調べて見てねー！